

「映画の振興施策に関する検討会議」の方向性（案）について

≪目的～今なぜ映画か≫

- 映画を含むコンテンツ産業は世界市場において成長領域。また、映画は、原作（小説・漫画等）・音楽・映像・アニメといった要素を含む総合芸術として各分野への波及効果が大きく、他のコンテンツ分野の牽引役として、また、観光（インバウンド）や財・サービスの海外輸出の先導役としても期待大。

≪課題～映画の更なる発展に向けて≫

- **海外市場の更なる獲得**。そのための、**海外展開の質的・量的な拡大**。
- 海外市場獲得にあたっての足下の基盤強化。特に、**中小制作会社・クリエイター**といった「**挑戦者**」の後押し。
- ロケーション支援の強化による「**日本映画**」の魅力の更なる向上。

検討会議での議論のポイント

製作支援・資金調達

- 制作領域への資源配分の必要性。特に、企画開発支援、製作費等中小制作会社や独立系の作り手への創作機会の付与の必要性。
- 既存の支援策の改善への要望。具体的には、単年度主義、事後支払等の改善策の検討の必要性。
- 技能系人材・プロデューサー人材の不足。
- 国内外のビジネス展開における配信プラットフォームの活用。必要に応じた政府からの支援の検討。
- フィルムアーカイブの機能強化の必要性。

海外展開

- 中国を中心としたアジアのマーケットの重要性、アニメーション分野への重点支援。
- 俳優、監督等個人に着目した支援の必要性。
- 助成制度における単年度主義、マッチング支援の在り方等既存施策の見直しの必要性。
- ローカライズ・プロモーション支援の継続・強化。
- 海賊版対策の強化の必要性。

ロケ支援

- 道路使用・消防の観点からの許認可手続等の円滑化、予見可能性の確保の必要性（警察・消防等規制当局を交えたマニュアルの策定）。
- 自国の映画産業の底上げ、産業のグローバル化等を目的とする海外作品誘致強化の必要性。
- ロケ誘致を行うにあたっての、国内の環境整備の必要性（フィルムコミッションの体制強化、人材育成等）

対応の方向性（案）

●制作領域への支援強化・人材育成

「日本映画」の魅力強化し、その基盤を維持するため、**中小を含む制作会社やクリエイターの作品作りへの挑戦を支援**。

- **既存の支援策の改善**（年度をまたぐ支援の検討、支援メニューの多様化、申請手続の改善）。
- 官民ファンドの活用などにより、**特に資金需要の強い企画開発や製作段階においてリスクマネーを供給する方策**を検討。
- 内閣府における「**クールジャパン人材育成検討会**」の設置。**【新規】**（→高等教育機関での産業ニーズに即した教育・研究内容検討への活用も視野に議論）

●海外展開支援の強化

産業界の海外市場獲得に向けた取組・挑戦を支援。

- 海外市場における各種規制への対応と、国際共同製作を促すための基盤整備（**国際共同製作協定の交渉、補助金の拡充**）。
- 中小制作会社等の海外展開促進に向け、**最適な資金調達方法の確立を目指し、検証事業を実施**。**【新規】**
- 海外向けプロモーション支援の拡充・強化。

●ロケーション支援の強化

「日本映画」の魅力の更なる向上、産業のグローバル化を視野に、**政府としてロケーションの支援体制を新たに構築**。

- 「**ロケ撮影の環境改善に係る官民連絡会議**」の内閣府への設置及び内外の実作品に関するロケーション支援の実施。**【新規】**
- 我が国映画産業のグローバル化・人材育成等に資する**海外作品の誘致制度の具体化の検討**。